

2016年10月中旬配本予定

近藤洋太 評論集

詩の戦後——宗左近／辻井喬／栗津則雄

近藤洋太

Kondo Yota

詩の戦後

宗左近／辻井喬／栗津則雄

四六判並製（クータ）／352頁／2,400円+税  
ISBN978-4-908568-06-0 C0095 ¥2400E

戦後、詩は何を経験してきたのか。

1955年『死の灰詩集』論争で切り開かれた詩の戦後。2011年東日本大震災後の現在まで、詩は何を経験してきたのか。宗左近、辻井喬、栗津則雄、寺門仁、古木春哉、秋山清、吉本隆明、眞鍋呉夫の名と共に語られる詩の戦後の記憶。

著者略歴

近藤洋太 こんどう・ようた

1949年福岡県久留米市生まれ。中央大学商学部経営学科卒業。大学卒業間際、眞鍋呉夫の紹介で檀一雄主宰の「ポリタイア」に参加。林富士馬、古木春哉、谷崎昭男ら「日本浪漫派」ゆかりの人たちの知遇を得る。同人詩誌「翼」、「SCOPE」他に参加。現在「歷程」、「鷹」同人。添田馨らと「スタンザ」発行。詩集に『もがく鳥』（78年）、『七十五人の帰還』（81年）、『カムイレンカイ』（85年）、『水縄譚』（93年）、『水縄譚其弐』（00年）、『筑紫恋し』（11年）、『果無』（13年）、『CQICQ』（15年）など。評論集『矢山哲二』（89年）、『反近代のトポス』（91年）、『〈戦後〉というアポリア』（00年）、『保田與重郎の時代』（03年）、『人はなぜ過去と対話するのか——戦後思想私記』（14年）、『現代詩文庫231 近藤洋太詩集』（16年）、『辻井喬と堤清二』（16年）。

戦後、詩は何を経験してきたのか。  
一九五五年『死の灰詩集』論争で切り開かれた詩の戦後。  
二〇一一年東日本大震災後の現在まで、詩は何を経験してきたのか。  
宗左近、辻井喬、栗津則雄、寺門仁、古木春哉、秋山清、吉本隆明、眞鍋呉夫の名と共に語られる詩の戦後の記憶。

詩集「子午線」本体2,400円+税

第一章 詩の戦後

第二章 われわれが踏み込みつつある世界 二〇〇三—二〇一五

第三章 空瓶通信抄 震災前／震災後

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX 03-3721-1922

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）

新刊 書肆子午線

info@shoshi-shigosen.co.jp

返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご注文数

詩の戦後 —— 宗左近／辻井喬／栗津則雄

ISBN978-4-908568-06-0 C0095 / 四六判並製 / 352頁 / 本体 2,400円

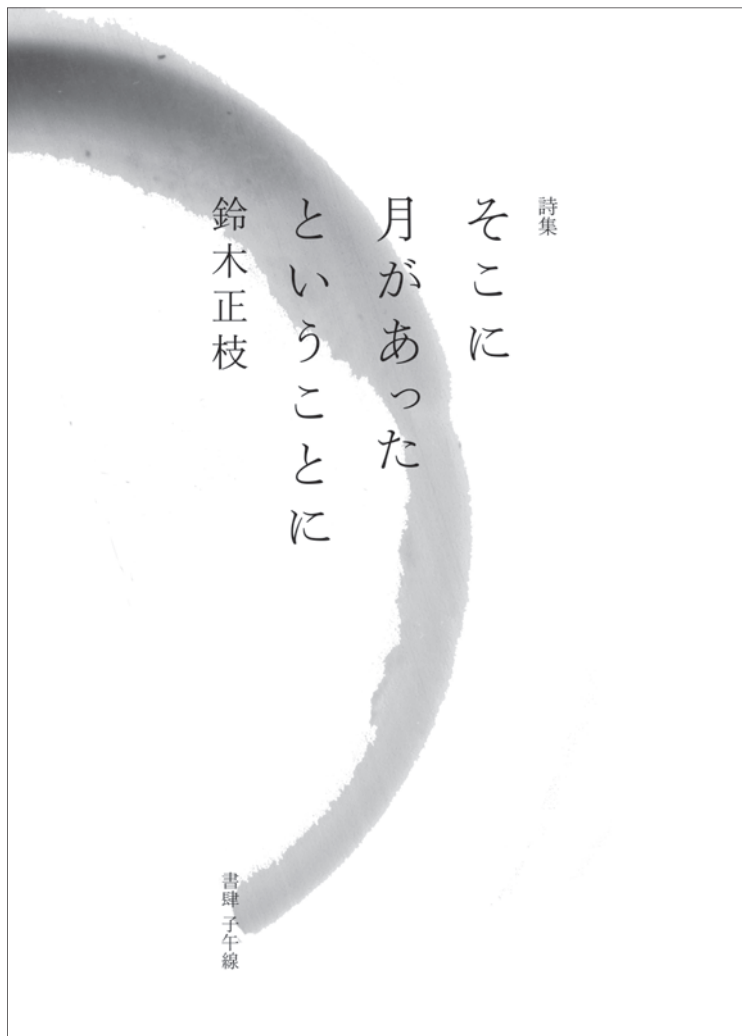
ご担当

様

冊

2016年11月上旬配本予定

# 鈴木正枝 詩集 そこに月があったということに



四六判並製（クータ）／112頁／2,000円＋税  
ISBN978-4-908568-07-7 C0092 ¥2000E

## 遠すぎる距離が淋しいだけ

時の往来、日々の陰陽にひそむ解き得ない  
こころの揺れ。その揺れの小さな叫喚にそっと  
手を寄せる。鈴木正枝第二詩集刊行。

### 著者略歴

鈴木正枝 すずき・まさえ  
1945年茨城県出身。  
詩集『キャベツのくに』（2010年／ふらんす堂）。

### 目次

隠し事	アラと	三十二歳の誕生日
一輪	帰り道	銀の鞆えんどう
理由をさがして	正午	残っていくもの
去りゆくもの	ある晴れた朝に	
一枚の斉藤	バイバイ	
陽が落ちて	わたしと女の子	
りんご園	今日の出来事	
転位していく想い	小さな叫びが	
別れ	ふたりの世界	
春の暮れ方	命のねむり	
雨とおばさん	午後の訪問者	
	いえの構造	

ただあの家のあの木が愛おしいだけ  
あの時も今も  
遠すぎる距離が淋しいだけ

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX 03-3721-1922**

TEL 03-6715-6121 E-mail [info@tsubamebook.com](mailto:info@tsubamebook.com) <http://tsubamebook.com>

貴店名（番線印）

**新刊 書肆子午線**

[info@shoshi-shigosen.co.jp](mailto:info@shoshi-shigosen.co.jp)

返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご注文数

鈴木正枝 詩集 そこに月があったということに

ISBN978-4-908568-07-7 C0092 / 四六判並製 / 112頁 / 本体 2,000円

ご担当

様

冊